

令和元年度進行管理・評価シート

下野市 歴史的風致維持向上計画（平成31年3月26日認定）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 歴史的風致の維持及び向上に向けた連携並びに推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 重点区域における良好な景観を形成する施策	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 下野薬師寺跡保存整備事業	3
2 史跡等公有化事業	4
3 下野国分尼寺跡保存整備事業	5
4 地域の文化財の総合的な活用に係る基本計画(仮称)策定事業	6
5 歴史的風致形成建造物の調査・継承支援事業	7
6 しもつけ風土記の丘資料館整備事業	8
7 学びの場活用事業	9
8 天平の丘公園・下野国分寺跡を活用したイベント事業	10
9 歴史文化発信事業	11
10 ローカルガイド育成事業(文化財観覧ガイド養成事業)	12
11 民俗芸能・伝統行事継承事業	13
12 伝統文化体験事業	14
13 歴史学習事業	15
14 干瓢生産・消費推進事業	16
15 干瓢生産道具保存活用事業	17
16 天平の丘公園再整備事業	18
17 景観計画の策定	19
18 薬師寺周辺駐車場等整備事業	20
19 下野薬師寺いにしへの道整備事業	21
20 情報案内・説明板設置事業	22
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の修理・整備に関する取組み	23
2 文化財の保存・活用を行うための施設に関する取組み	24
3 文化財の保存・活用の普及・啓発に関する取組み	25
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 「歴史的風致」カードに 栃木・下野市の魅力発信	26
下野市の歴史伝えて ガイド講座受講者を募集	
かんぴょうまつり20日催し多彩に	
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 ローカルガイド育成事業(文化財観覧ガイド養成事業)における文化財観覧ガイド養成講座の受講者数	27
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	28

評価軸1-1

組織体制

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
歴史的風致の維持及び向上に向けた連携並びに推進体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 歴史的風致維持向上計画の推進体制は、都市計画課と文化財課を中心とし、関係各課と連携を図りながら、下野市歴史的風致維持協議会において計画推進や計画変更、効果的かつ円滑な事業実施に向けた協議を行い、事業の推進を図る。
 具体的な事業や取組みの実施に関しては、国や栃木県の指導を仰ぎながら、庁内各関係課と連絡調整を行いつつ、事業対象となる文化財の所有者や周辺住民等と協議のうえ実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

第1回下野市歴史的風致維持向上協議会を10月31日に開催し、事業の実施状況について説明を行った。第2回歴史的風致維持向上協議会を3月16日に開催し、令和元年度の進捗評価シートについての説明を行った。

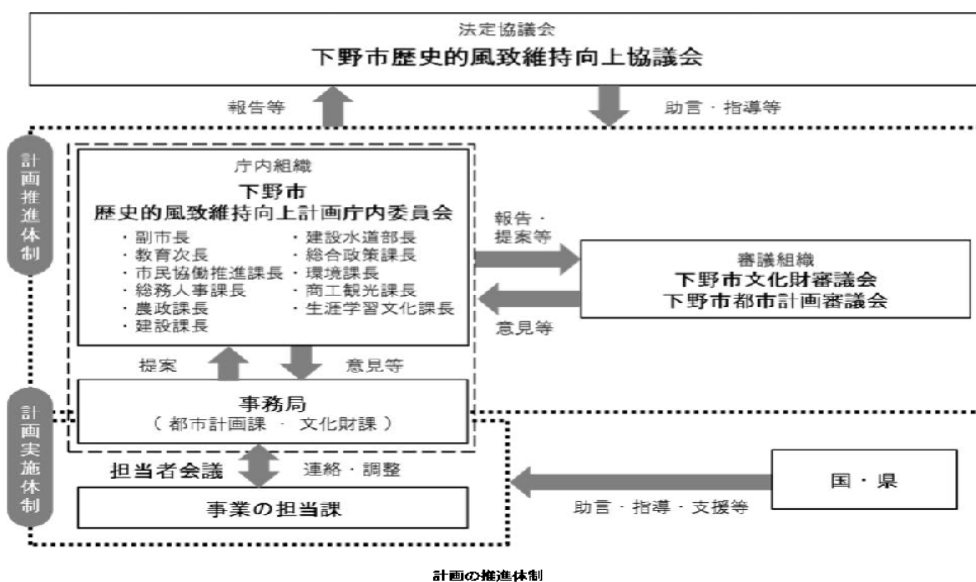
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	各種事業を円滑に推進していくため、各種補助事業の積極的な活用、周辺住民の合意形成を図っていく必要がある。 歴史まちづくりに関する情報を発信し、市民の意識向上を図る必要がある。

状況を示す写真や資料等

- ①下野市歴史的風致維持協議会の開催
 - 第1回 令和元年10月31日(木)
 - 議題 (1)下野市歴史的風致維持向上計画について
 - (2)歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事業について
 - 第2回 令和2年 3月16日(月)
 - 議題 (1)下野市歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価について



第1回下野市歴史的風致維持向上協議会 (R1. 10. 31)



評価軸2-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
重点区域における良好な景観を形成する施策 (1) 都市計画との連携 (2) 景観施策との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容

歴史的風致維持向上計画に位置付けられている重点区域については、市街化調整区域となっているため、都市計画及び建築の制度や誘導施策と連携しながら、両重点区域の更なる歴史的風致の維持向上を図っていく。栃木県の景観条例及び屋外広告物条例に基づき歴史的風致の維持向上を図っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

国の指定文化財である下野薬師寺跡及び国分寺跡、国分寺尼寺跡と緑地環境地域の国分寺跡周辺については、栃木県屋外広告条例により、屋外広告物の掲示禁止地域に定められている。また、令和4年の景観計画作成に向けた検討を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

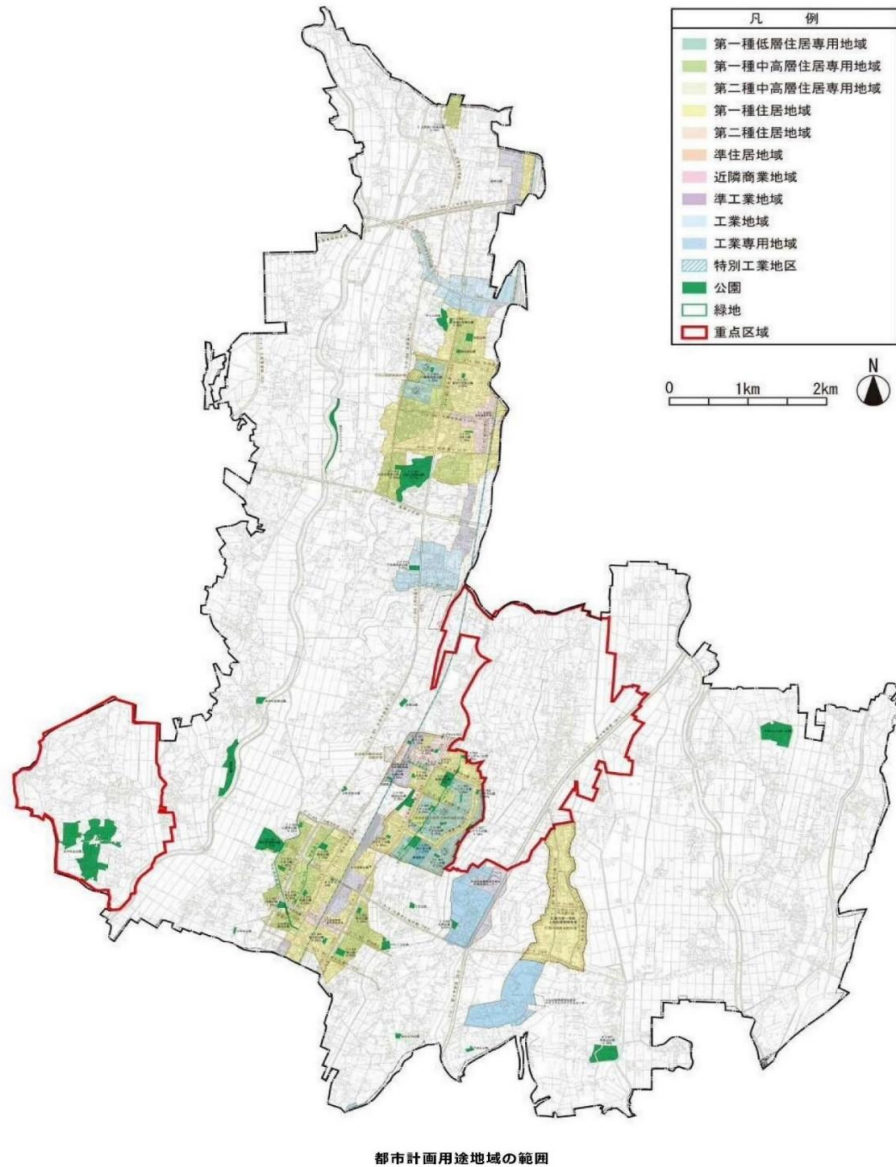
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

令和4年4月1日に「景観計画」「景観条例」の策定を目指していく。

状況を示す写真や資料等

第4章 重点区域の位置及び範囲



評価軸3-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和元年度
項目		現在の状況
下野薬師寺跡保存整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和元年度～令和10年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金

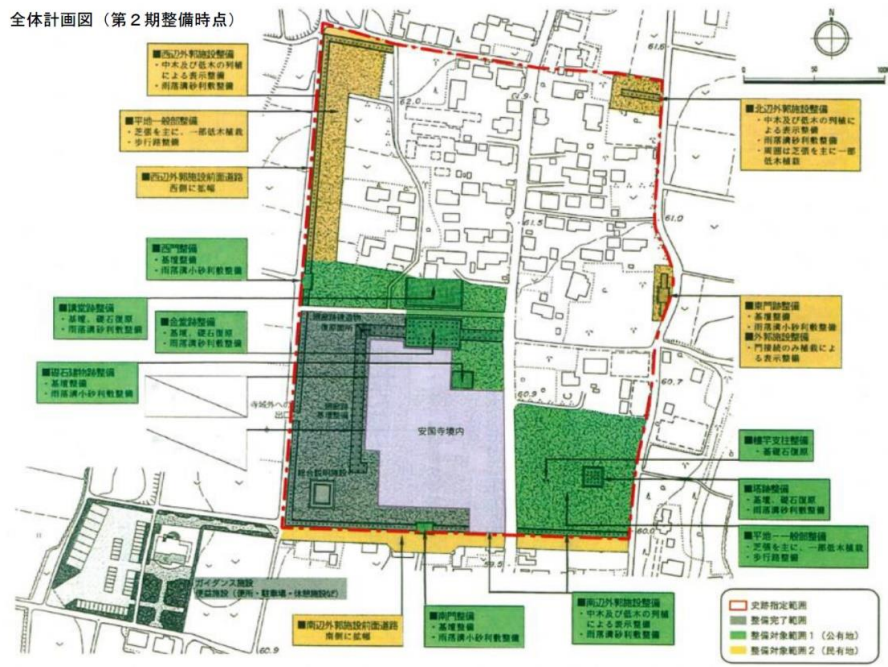
計画に記載している内容 発掘調査の結果に基づき、当時の伽藍の基壇の復元等を行うとともに、既整備範囲についても再整備事業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

第3期保存整備事業の基本計画を策定作業を進めた。諸条件の整理や整備事業を行うための課題等についての検討等を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	整備予定地内に市道が横断しており、文化庁との協議のほか、庁内関係各課との調整も必要である。

状況を示す写真や資料等



下野薬師寺跡保存整備事業全体計画



第3期保存整備事業実施予定箇所(金堂周辺)



第3期保存整備事業実施予定箇所
(東側基壇建物跡周辺)

評価軸3-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
史跡等公有化事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和2年度～令和4年度

支援事業名 史跡等購入費補助金

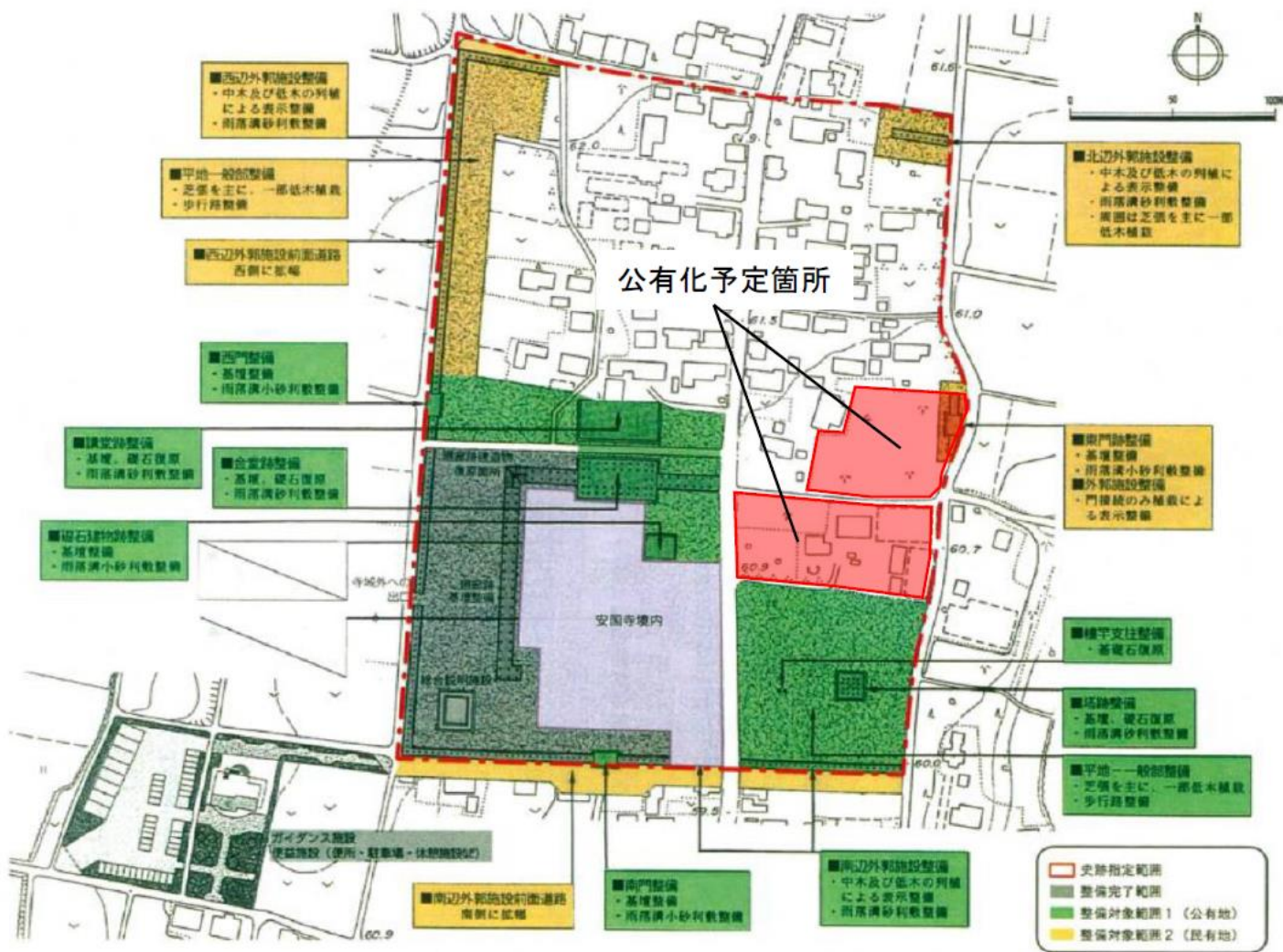
計画に記載している内容 史跡下野薬師寺跡の推定東門周辺地区の整備事業を実施するため、土地の公有化を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

公有化に向け、地権者への説明等を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	公有化にあたっては地権者と綿密な協議が必要であり、さらに家屋や竹林等の撤去の際には地下遺構に影響を与えないよう慎重な工事が必要となる。

状況を示す写真や資料等



評価軸3-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
下野国分尼寺跡保存整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和2年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容 尼寺後及び指定西門跡周辺の整備事業を実施する。尼寺基壇表示及び西門の位置の表示等とともに説明看板等の設置を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

第2期保存整備事業として、史跡地北側の山林の一部伐採及び粗造成を実施した。また、次年度に整備工事を実施するため、実施設計を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	一部公有化の済んでいない箇所があるため、整備完了のため速やかに交渉を行い公有化を進める。

状況を示す写真や資料等



下野国分尼寺跡整備イメージ図



下野国分尼寺跡現況写真

評価軸3-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
地域の文化財の総合的な活用に係る基本計画(仮称)策定事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和2年度

支援事業名 文化遺産総合活用推進事業

計画に記載している内容 市内における文化財の保存及び活用に関する総合的な計画である「文化財保存活用地域計画」の策定を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

下野市文化財保存活用地域計画策定のため、下野市歴史文化基本構想を元に計画の内容検討を行うとともに、下野市文化財保存活用地域計画推進協議会を開催した。また、素案を作成し文化庁との協議を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	策定後も継続的な業務の推進、進捗管理、定期的な見直しが必要である。

状況を示す写真や資料等



下野市文化財保存活用地域改革推進協議会

令和元年度は、6月、12月、2月の計3回、協議会を開催した。
 6月の協議会では、策定に向けてのスケジュールや事業報告を実施した。
 12月の協議会では、文化庁協議にて修正依頼があった記載内容の報告と修正案の検討を実施した。
 3回目の2月の協議会では、計画の最終案の確認を実施した。
 今後、パブリックコメントを実施し、国への認定申請を令和2年6月に実施する。



東の飛鳥普及啓発シンポジウム
 「古代のしもつけを探る～飛鳥と東の飛鳥～」

地域計画作成事業の一環として、シンポジウムを開催した。
 本市の歴史的な特性を活かした地域づくりのために事業を進めている「東の飛鳥」を普及するためのシンポジウムを外部講師を招き、講演会とパネルディスカッションを行った。

評価軸3-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和元年度
項目		現在の状況
歴史的風致形成建造物の調査・継承支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和元年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 これまでに十分に調査されていない歴史的建造物について、総合的に把握するとともに調査を実施する。また、調査等に基づき歴史的風致形成建造物を指定し、保存を図るために修理等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重点区域である薬師寺地区の建造物についての把握調査を小山高等専門学校と協力し実施した。調査により、歴史的風致形成建造物の候補となる築50年以上の建造物等約80軒を把握することができた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

現在進めている薬師寺地区以外にも同様の重点地域である国分寺地区や石橋地区があり、継続した作業が必要となる。

状況を示す写真や資料等



調査により把握された建造物①
(薬師寺地区)



調査により把握された建造物②
(薬師寺地区)

10/10、11/15の二日間で小山工業高等専門学校に委託し、薬師寺地区の歴史的建造物調査を実施した。調査にあたっては、現代地図と江戸時代に書かれた「薬師寺村伍組絵図」を比較しながら実地調査を実施した。調査の結果、80件の歴史的建造物が現存していることが判明した。



天平の丘公園内に所在する
古民家「夜明け前」

天平の丘公園内に所在する古民家「夜明け前」の国登録有形文化財への意見具申を1/31に実施した。意見具申にあたり、11/15に小山工業高等専門学校に調査を依頼した。R2.7頃に国の文化審議会の答申が行われ、国登録有形文化財となる予定である。

評価軸3-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
しもつけ風土記の丘資料館整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和2年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容 しもつけ風土記の丘資料館を下野市の埋蔵文化財の発信拠点として改修を行い、下野市の歴史を発信し理解を深めることのできる施設とする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

常設展示室のリニューアルを行うため、展示物の作成、展示ケースの製作等を行った。また、資料館の機能を強化するため増築工事に着工した。

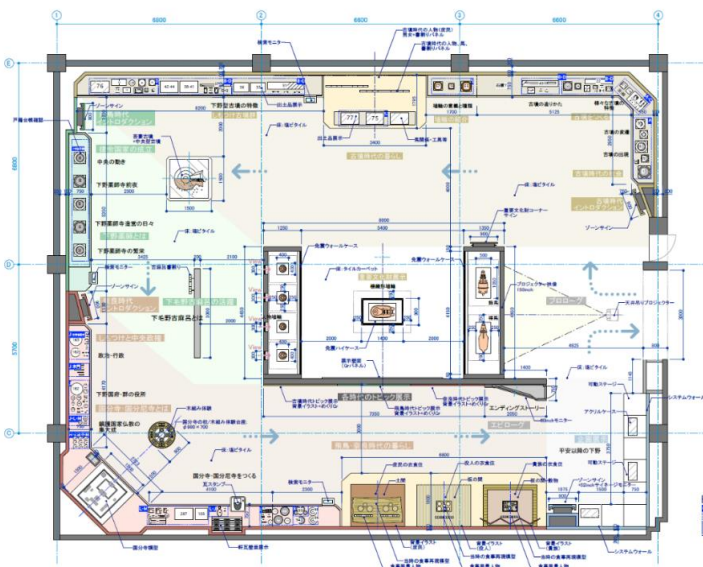
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

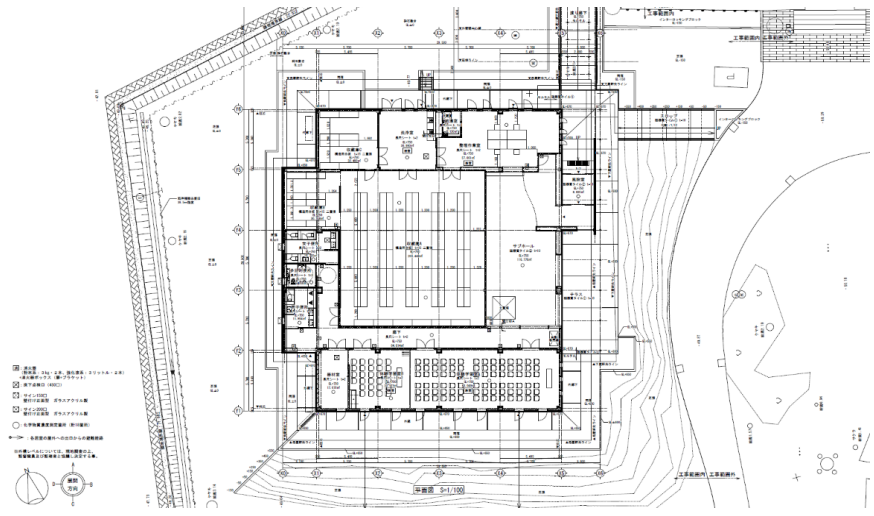
令和2年度中に完成予定であるが、完成後は来館者の要望に応じた運営、継続的なソフト事業の開催が必要である(定期的な運営方針の確認)。

状況を示す写真や資料等



常設展示室改修計画平面図





増築建物平面図

評価軸3-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
学びの場活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和元年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	国分寺西小学校(平成31(2019)年4月1日に国分寺小学校に再編)の校舎の一部を利用して、干瓢生産道具を主とした農業に関する民俗資料や埋蔵文化財、古文書等の歴史資料を収集・保管・展示する施設として整備し、これらの資料を使用して、歴史と文化を学び、体験する施設として活用する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
旧校舎各教室の効果的な活用と収蔵。特に収蔵に関しては、資料の検索も考慮した収蔵が必要である。また、資料も埋蔵文化財出土資料と民具類の民俗資料、古文書等の史料の長期保管なども考慮した収納が必要である。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		将来的には、展示を行う施設として整備する想定をしているが、整備に際しては都市計画法に基づく事務手続きが必要になるため、具体的な計画が決定した段階で調整を行う必要がある。	
状況を示す写真や資料等			

評価軸3-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
天平の丘公園・下野国分寺跡を活用したイベント事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和元年度～令和7年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	天平の丘公園については、春の花まつり期間、下野国分寺跡については史跡愛好家の来訪がそれぞれ集客のメインになっている。 天平の丘公園再整備より通年での来園者を見込むが、更なる来園者の増加、併せて史跡地の周知及び積極的な活用を図るため、同地を活用したイベントを実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和元年8月23日から25日にかけて、天平の丘公園内の民俗資料館夜明け前(古民家カフェ)周辺及び国見山を活用して、約4千個のカップ型燈籠を並べるイベント「しもつけ燈桜会(とうおうえ)」を開催した。 広報紙、ホームページ等での周知の他、テレビや新聞などのメディアに取り上げられ、3日間で7,500人の来場を記録した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	天平の丘公園内の段差や電源設備の不足などの課題が確認できた。 また、下野国分寺跡を活用する場合にも、現状では電源設備がない状況にあり、仮設・常設いずれかの電源確保策の検討を行う。		

状況を示す写真や資料等



令和元年度しもつけ燈桜会ポスター



イベント状況1 虎の子広場付近(東から)



イベント状況2 八重桜燈場付近(北から)



イベント状況3 文星芸術大学オブジェ付近(北から)



イベント状況4 国見山燈場付近(東から)

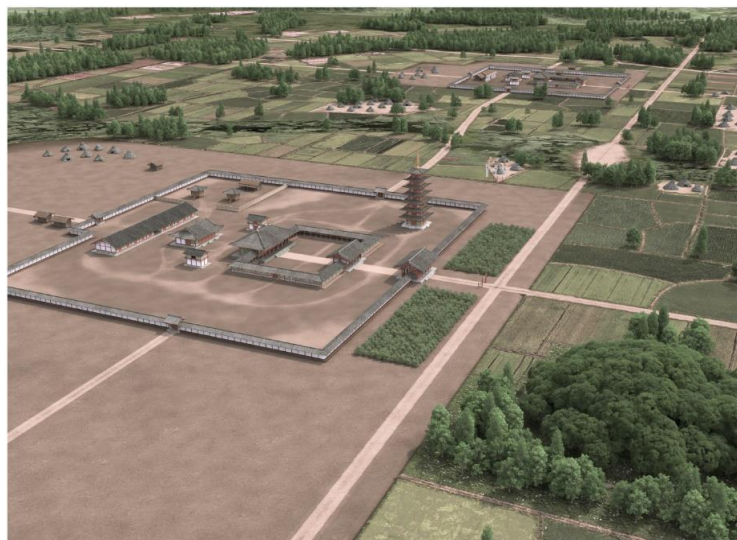
評価軸3-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
歴史文化発信事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和元年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市の歴史的風致を紹介するパンフレットの作成を行うほか、VR等を活用した歴史的風致形成建造物等の復元等を行い公開し、児童・生徒や来訪者に対し市の歴史的風致の魅力の発信を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
これまでに作成した、下野薬師寺、古墳、日光街道等のVR画像の公開を行うとともに、東山道関連文化財として、下野国分寺・尼寺の復元VR画像を製作した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	資料館での使用や学校教育における利活用も視野に入れ、今後の活用を想定する。		
状況を示す写真や資料等			



下野国分寺七重塔・中門復元画像



下野国分寺・尼寺復元画像

評価軸3-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
ローカルガイド育成事業(文化財観覧ガイド養成事業)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 史跡下野薬師寺跡や下野国分寺跡等に訪れる来訪者等に対し案内・説明を行うガイドを養成するために、講習会やガイド認定制度の導入を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財観覧ガイド養成講座を実施し延べ341人が受講した。5回の講座のうち4回以上受講した方に修了証を交付した。これまでに観覧ガイドとして29人が登録し活動を開始している。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	現在は資料館での案内を主としているが、今後市内全域で活動することができるよう、継続的に講座を実施する必要がある。

状況を示す写真や資料等



観覧ガイド養成講座
(8/10: 宇都宮市教育委員会による上神主茂原官衙遺跡の講座)



団体への解説
しもつけ風土記の丘資料館での小学生の見学対応



市学芸員による講座
9/7 落内遺跡に関する講座

評価軸3-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
民俗芸能・伝統行事継承事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 市内の祭礼に伴う伝統芸能や地域に伝わる民俗行事等の基礎調査を実施することにより行事等の把握を行う。また、保存・継承のため、専門的な知見に基づき、記録や道具等の整備、後継者育成、情報発信等の支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財保存活用地域計画の策定に伴い、市内の祭礼等についての調査を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	祭礼や行事に関する知識や情報の知見者の高齢化が進展しており、早期の記録や聞き取り作業が必要である。

状況を示す写真や資料等



子ども相撲



茅の輪くぐり



薬師寺地区に立てられる雷電神社の札



国分寺地区の鹿嶋様

評価軸3-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	
伝統文化体験事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 市内の祭礼に伴う伝統芸能や地域に伝わる民俗行事等を継承するために、将来の担い手となる小・中学生等に対し、ワラデッコ作りやお囃子、太々神楽等の体験事業を行う。
 また、次代を担う子どもたちに対して、地方公共団体や伝統文化等の指導者等が一体となって、地域ぐるみで民俗芸能、工芸技術、邦楽、日本舞踊、茶道、華道などの伝統文化等を体験・習得できる機会を新たに設けることにより、子どもたちの体験機会を拡充し、併せて地域文化・地域人材の掘り起こしを図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・伝統文化親子教室を開催した。(茶道・華道・和装礼法・和琴・お囃子)
 教室の成果の発表の場として、文化フェスティバルを開催した。(会場:道の駅しもつけ)
- ・公民館の講座で「日本の歳時記の伝統を守る～わらでっぽうづくり～」と題してわらでっぽうづくり体験を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	事業実施における効果を数値化し、事業の拡大を図る。

状況を示す写真や資料等



伝統文化親子教室(お囃子)



事業への参加者の推移
H30: 延べ参加者 90人
H31: " 98人

伝統文化親子教室(茶道)



伝統文化親子教室(和装礼法)



伝統文化親子教室(お琴)



わらでっぽうづくりの様子



わらでっぽう体験

評価軸3-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	
歴史学習事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 将来、歴史的風致の担い手となる小・中学生に対する歴史等への学習支援を強化し、学校や教育委員会、博物館が連携した歴史学習事業の展開を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

資料館での学校見学での対応が約50校で約3,000人、市内の小学校への出前授業(かんぴょうむき体験等)を市内の4小学校で実施した。また、下野薬師寺歴史館で子ども歴史講座を開催したほか、近隣の小学校との連携事業と連携した体験事業を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	例年継続して実施する事業であるため、恒常的になり目新しさが失われる。受講する児童は1回のみ受講のため、興味関心を持ってもらえるような工夫が必要である。

状況を示す写真や資料等



出前授業(かんぴょうむき)
緑小学校にて(7/7)



子ども歴史講座
7/30「年号のふしぎ」



小学校との連携事業(薬師寺跡で栽培したエゴマの収穫)



小学校との連携事業(史跡見学)

評価軸3-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
干瓢生産・消費推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和元年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	干瓢生産については、良質苗の提供や生産機械や施設整備への支援を行い、減少傾向にある干瓢生産の維持拡大を図っていく。 また、干瓢の消費については、毎年開催しているかんぴょうまつりや干瓢料理教室などの魅力発信に係るイベント等を開催し、消費拡大につなげていく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
減少傾向にある干瓢生産量の維持拡大及び消費拡大を図るため、次のような支援等を行った。 ■良質苗購入への支援については、JAおやま、うつのみやの生産部会を通し、良質苗購入費約1,250,000円(約24,000本)に対し1/3の補助を行った。生産機械、施設整備の支援については、干瓢乾燥用ヒーター、乾燥用パイプハウス、干瓢剥き機等の整備を行った生産者に対し1/2補助を行った。 ■消費拡大への支援については、「しもつけかんぴょうまつり」を7月に開催し、干瓢剥き体験、重さ当てクイズ、干瓢巻きゲーム等を行い下野市産干瓢のPRを行った。また、干瓢を使った料理に関しては、干瓢の卵とじスープ(干瓢汁)、干瓢入り五目おこわの無料配付を行ったほか、道の駅しもつけ食のオープンスクールの一コマ(かんぴょうまつり記念)として、干瓢料理教室を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	・新規参入農家の掘り起こし ・しもつけかんぴょうまつり内容の再検討		

状況を示す写真や資料等



「しもつけかんぴょうまつり」における干瓢剥き体験の様子



干瓢剥き機





「しもつけかんぴょうまつり」にて干瓢卵とじスープを配布する様子



干瓢乾燥用ヒーター

評価軸3-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和元年度
項目		現在の状況
干瓢生産道具保存活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和元年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 干瓢生産における夕顔の実を剥く道具は時代とともに変遷し、特徴的な変化があることからこれらの生産道具の調査を行い、国の登録有形民俗文化財への登録を目指すとともに、干瓢剥き等の体験事業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市内の小学校への出前授業(干瓢むき体験等)を市内の4小学校で実施した。また、下野薬師寺歴史館及び道の駅しもつけにて干瓢むき体験事業を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	生産者の高齢化や古い情報を有している知見者の減少により、早期の記録・聞き取り作業が必要となる。

状況を示す写真や資料等



出前授業(干瓢むき) 7/9 緑小学校にて



出前授業での干瓢むきの干し作業



体験前の授業の様子 7月上旬:古山小学校

評価軸3-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
天平の丘公園再整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和元年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	「天平の花まつり」の会場である天平の丘公園について、平地林の保全及び公園施設のユニバーサルデザイン化などを考慮した再整備を行う。 また、公園内を横断する市道2-22号線についても、公園施設と合わせて再整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
天平の丘公園再整備基本構想を作成し、下野市観光振興推進委員会に諮り、内容の承認を受けた。令和元年度に市長決裁を経て、同基本構想の策定を終了した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和3年度に社会資本整備総合交付金の交付申請に係る事前協議を実施するにあたり、令和2年度中に同公園再整備基本計画及び都市再生整備計画の策定を実施する。		
状況を示す写真や資料等			
別添 天平の丘公園再整備基本構想案			

評価軸3-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	
景観計画の策定	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～令和3年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 歴史的風致の維持及び向上を確実に推進していくため、以下の施策について検討を進める。
 ・平成31年度より景観団体へ移行
 ・下野市景観計画(H33年度策定予定)における重点区域の位置づけ
 ・景観計画に基づき、屋外広告物条例を策定する。屋外広告物の積極的な誘導方策を検討する
 ・重点区域における建築物等の規制誘導について、区域住民への周知を図る

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

栃木県景観アドバイザー派遣制度を活用し、12月12日に東京大学名誉教授の堀繁氏を招き、「景観とまちづくり」と題して講演会を開催した。講演会当日は約70名の受講者が集まり、賑わいのあるまちづくりを目指すための方策について講演を受けた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	現在の景観の状況を把握し、下野市の特色を生かした景観づくりを実現するために、栃木県景観アドバイザー制度を活用し、市民を対象とした街歩き事業の実施や景観に関する基礎調査、市民の意向調査などを実施していく。

状況を示す写真や資料等



講演会の様子(令和元年12月12日)

評価軸3-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
薬師寺周辺駐車場等整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 すでに整備の進んでいる道の駅周辺に用地を購入し、駐車場を増設するとともに、交流施設の充実をはかる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

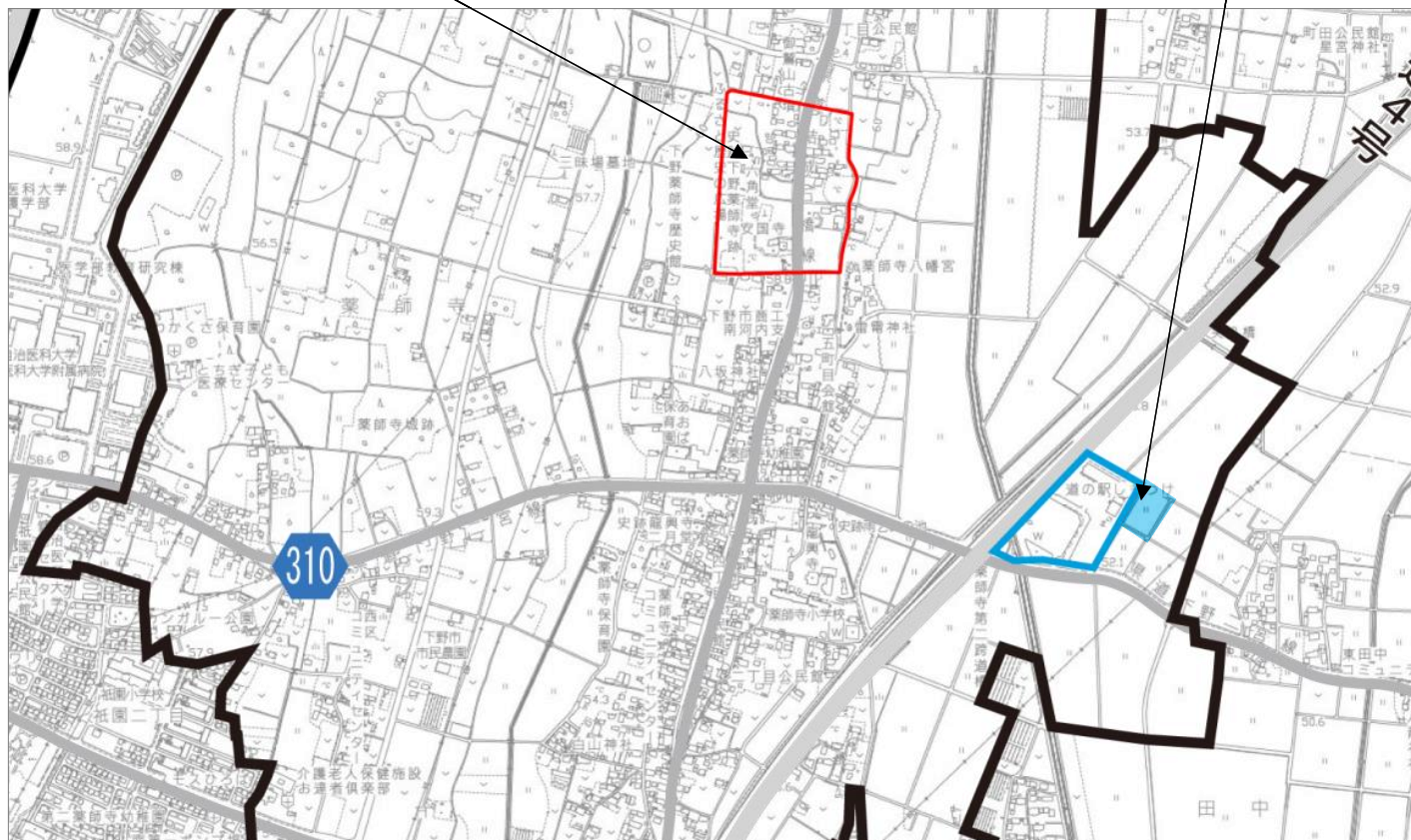
予定地の地権者や土地改良区等の関係者にも事業内容の事前説明を行い、理解を得られた。
R2年3月に農振除外の申請書を提出し、現在、審査中である。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後、農振除外手続きや農地転用許可の承認に向け、下都賀農業振興事務所や農業委員会等の関係機関とより細かな調整が必要となる。 また、「下野薬師寺いにしへの道整備事業」において道路景観の整備を併せて実施することにより、駐車場から史跡地までの来訪者数の増加を図る。

状況を示す写真や資料等

史跡薬師寺跡

事業個所(駐車場整備)



評価軸3-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
下野薬師寺いにしへの道整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 重点区域の核となる重要な文化財である下野薬師寺跡周辺に所在する下野薬師寺歴史館、薬師寺(旧安国寺)、薬師寺八幡宮、龍興寺を結ぶルートである市道4101号線、4100号線、4131号線、及び7009号線において、安全な通行幅員確保による周遊空間の創出、及び歴史的情緒が体感できる道路への美装化による修景を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

整備実施に向けてしっかりとした事業計画が必要であるため、初めに整備方針として、どのように整備するのか方向性を定めなければならない。地元の意見や情報交換などを実施し、計画道路に隣接する地権者などと合意形成も必要と考えられる。関連各課と調整を図り、地域の意向を取り入れながら事業計画の策定は、令和3年度末を目標に進めていく見込み。また、単独事業とあるが、整備内容によっては補助事業の採択も可能となり、市単独費の抑制となるため検討を進める。

状況を示す写真や資料等

計画に定められている事業内容



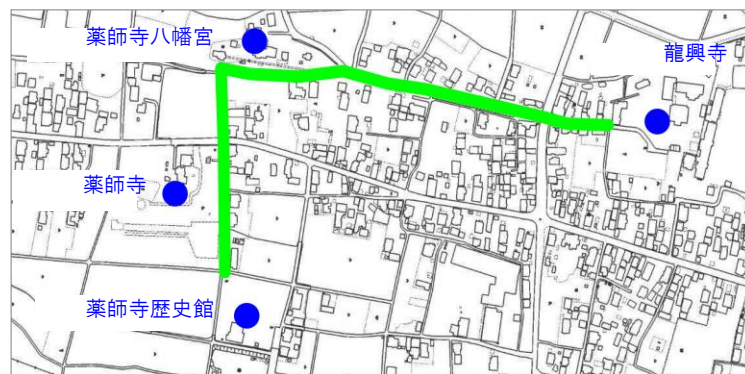
市道4101号線



市道4131号線



美装化イメージ 明日香村



評価軸3-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	
情報案内・説明板設置事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和2年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 市内の説明板や誘導板については、旧町時代に設置したものも多く、設置した部署により表示内容やデザイン等でかなりの違いが生じて統一感に欠けるため、今後、策定予定の景観計画で統一した表示内容やデザイン等を検討し、景観計画に基づき設置する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和2年度より学識経験者や各種団体、公募による市民で構成される策定委員会を組織し、景観計画を策定していく過程で、地域の景観に関する基礎調査や市民アンケートを行い、下野市の景観及び歴史的風致にあった統一感のある案内板や説明板のデザイン案を検討し、速やかに整備を実施する。

状況を示す写真や資料等



市内における説明板・誘導板の現状写真

評価軸4-1

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
文化財の修理・整備に関する取組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 文化財の修理にあたっては、文化財の価値を維持もしくは復旧することを目的とし、関係機関や専門家と連携して行う。修理等に要する所有者等の財政的負担の軽減を考慮し、各種補助制度を積極的に活用する。史跡整備については、国の史跡である下野薬師寺跡の整備事業を進めるとともに下野国分寺跡等と連携した取り組みを行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

下野薬師寺跡については、第3期整備事業を実施するために、整備基本計画の策定作業を行った。また、下野国分尼寺跡では第2期保存整備事業として、整備工事及び次年度施工分の実設計を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	発掘調査成果などの最新の情報を常に表示するため最新の発掘調査成果などを踏まえて、必要に応じ整備基本計画や整備事業計画を見直し、時宜にかなった事業推進を図る。

状況を示す写真や資料等



下野薬師寺跡第3期整備事業実施箇所

基本計画平面図 縮尺1:500

評価軸4-2

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
		項目	現在の状況
		文化財の保存・活用を行うための施設に関する取組み	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 しもつけ風土記の丘資料館を下野市における埋蔵文化財の保存・収蔵とともに情報の発信拠点として位置づけるため、資料館のリニューアルを実施するとともに、下野薬師寺歴史館についても、展示等のリニューアルについて検討を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

しもつけ風土記の丘資料館については、常設展示のリニューアルに向けて展示物の制作や展示ケースの製作を進めるとともに、収蔵庫等の改修工事を実施した。下野薬師寺歴史館については、下野薬師寺跡の保存整備事業に合わせ展示のリニューアルを行うため、整備基本計画の策定作業を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	市内の資料館のほか、周辺自治体の史跡や資料館、県立博物館など、県有施設との連携が必要である。

状況を示す写真や資料等



しもつけ風土記の丘資料館



下野薬師寺歴史館



しもつけ風土記の丘資料館常設展示室改修計画

評価軸4-3

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
文化財の保存・活用の普及・啓発に関する取組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容

市内外の人々に対し、文化財の存在や多様な価値を伝え理解を促す機会を提供するため、デジタルコンテンツの充実を図るほか、同時にパンフレットの作成や情報案内・説明板の設置、ローカルガイド育成を行う。また、地域住民との連携や子どもたちに対する支援も強化し、民俗芸能や伝統行事の体験等を含め歴史学習事業の展開を図る。加えて、地域住民や活動団体の発意による新たな歴史的風致の発掘・育成に対する支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

デジタルコンテンツの充実を図るため、これまでに制作した下野薬師寺・古墳・日光街道の復元VR画像を公開するとともに、下野国分寺及び国分尼寺の復元VR画像の制作を行った。また、ガイドの養成講座を行い、講座の修了者の内29名がガイドとして登録し、活動を行っている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	これまで制作したデジタルコンテンツの内容の信頼性をさらに高めるとともに、インバウンド需要の増大も見越し、多言語対応の充実を図る必要がある。

状況を示す写真や資料等



日光街道復元VR



古墳復元VR



文化財ガイド養成講座

評価軸5-1

効果・影響等に関する報道

		評価対象年度	令和元年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
「歴史的風致」カードに 栃木・下野市の魅力発信	平成31年4月21日	下野新聞	
下野市の歴史伝えて ガイド講座受講者を募集	令和元年7月17日	下野新聞	
かんぴょうまつり20日催し多彩に	令和元年7月18日	下野新聞	

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

下野市歴史的風致維持向上計画が認定されて以降、歴史的風致に位置付けた事業について、新聞やインターネットにより取り上げられたことにより、市内外へのアピールと下野市への歴史まちづくりへの関心が高まった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	引き続き、歴史まちづくりへの関心や理解を深めるため、新聞社などの各メディアに対して積極的に情報発信に努めていく。

状況を示す写真や資料等

評価軸6-1

その他(効果等)

		評価対象年度	令和元年度
項目			
ローカルガイド育成事業(文化財観覧ガイド養成事業)における文化財観覧ガイド養成講座の受講者数			
計画に記載している内容	史跡下野薬師寺跡や下野国分寺跡等に訪れる来訪者等に対し案内・説明を行うガイドを養成するために、講習会やガイド認定制度の導入を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付			
市内の文化財を案内・説明を行う文化財観覧ガイドを養成するための講座の受講者数が、計画策定前の昨年度と比較して34%増加し、9名の新規ガイドの登録があった。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	本市の文化財が多く集中する古代の内容の講座が多いため、今後中世～近世の本市の文化財に関する講座を開催し、知識に偏りのないガイドを養成する必要がある。		

状況を示す写真や資料等



養成講座の受講者の推移 H30: 講座6回 延べ受講者 304人 H31: 講座5回 延べ受講者 341人

観覧ガイド養成講座

評価対象年度

令和元年度

・法定協議会等におけるコメント

コメントが出された会議等の名称: 第2回下野市歴史的風致維持向上協議会

会議等の開催日時: 令和2年3月16日(月)午後2時から

(コメントの概要)

- (1)「天平の丘公園・下野国分寺跡を活用したイベント事業」においては、次年度以降も人気があるイベントとするため、これまでの成果や今後の課題についても、報告にしっかりと明記することで次につながるのではないかと。
- (2)「伝統文化体験事業」と「民俗芸能・伝統行事継承事業」の2つの事業については、2つの担当課がそれぞれ事業を実施しているが、似通った事業もあり、両課が連携できる場所は連携し、特に独自の観点や目標がある事業については仕分けしてそれぞれで行う等により、全体として効果をあげる必要があるのではないかと。
- (3)「伝統文化体験事業」において、参加された人数やどんな年代が参加したのか常に数値化して把握し、報告できるような姿勢があっても良いのではないかと。また、ワラデッポウに関する活動写真の掲載をした方が良い。
- (4)「天平の丘公園再整備事業」においては、文化財指定地の周辺環境や景観をどのようにしていくかということが、これからの保存を行う上で大切になり、再整備に際しては、世界遺産におけるバッファゾーンやヘリテージインパクトアセスメントの考えに倣い、関係各課(商工観光課・文化財課)がしっかりと連携しながら計画づくりや実際の整備に取り組んでほしい。
- (5)「景観計画の策定」については、歴史的風致が濃厚にある地域であっても、景観計画がその保全に有効に働かない緩いものになることがあるので、市の歴史的風致にふさわしいきめ細かな計画となるよう、他市町村を参考にしつつも、市独自に取り組むことが必要ではないかと。
- (6)「薬師寺周辺駐車場等整備事業」については、駐車場整備予定場所と薬師寺跡に距離があり、十分な連結・連絡方法を工夫し、計画に明記する必要があるのではないかと。
- (7)「下野薬師寺いにしへの道整備事業」において、現時点においては未着手であり、事業目的も不明瞭な部分があるとのことであるが、今後、整備方針や方法を早急に検討し取り組んでいただきたい。
- (8)「情報案内・説明板設置事業」については、見学者の誘致やその理解を深めるためには極めて重要であり、記載するコンテンツの充実とともに、周辺の歴史風致にふさわしい、洗練され、統一感のあるデザインのもの、早期に設置する必要があるのではないかと。
ある程度のスピード感を持って、それぞれの歴史的風致に合ったデザインや全体の統一感に配慮しながら取り組んでいただきたい。
また、情報案内板等の検討については、景観計画策定時に検討するとのことであるが、どのようなメンバーで検討し、策定するのか追記してほしい。

(今後の対応方針)

- コメント1 イベントの実施に関して成果や課題を追記し、次回開催の参考にする。
- コメント2 事業を進めていく中で、相互の事業が最大に効果が発揮できるよう調整を図るとともに、事業の在り方について検討する。
- コメント3 イベント開催時の参加状況等の記録を残す。
- コメント4 公園再整備については、関係各課との密接な調整を図りながら、周辺の環境や景観にも配慮しながら整備を進める。
- コメント5 現在策定されている先進地の計画も参考にしながら、下野市の歴史的風致についても十分考慮した景観計画を策定する。
- コメント6 「下野薬師寺いにしへの道整備事業」と連携した事業である旨、記載する。
- コメント7 整備実施に向けて、地域の合意形成を図りながら、令和3年度末の事業計画策定を目標に事業を実施する。
- コメント8 現状の把握が必要となることから、早急に調査を実施する必要がある。